



報道発表資料の配付日時 11月21日(月) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和4年度北海道赤レンガ建築賞の受賞作品の決定について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>令和4年度(第35回)北海道赤レンガ建築賞及び同建築奨励賞の受賞作品を決定しましたので発表します。</p> <p>1. 受賞作品及び受賞者(応募作品数19)</p> <p>【北海道赤レンガ建築賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「浦河フレンド森のようちえん」 (令和4年(2022年)2月竣工。浦河町内) ○建築主 学校法人フレンド恵学園 ○設計者 (株)照井康穂建築設計事務所 ○施工者 岩田地崎建設(株) <p>【北海道赤レンガ建築奨励賞】(2作品)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ザ ロイヤルパーク キャンパス 札幌大通公園」 (令和3年(2021年)8月竣工。札幌市内) ○建築主 三菱地所(株) ○設計者 (株)三菱地所設計 ○施工者 清水建設(株)北海道支店 <ul style="list-style-type: none"> ・「芽室町役場庁舎」(令和3年(2021年)12月竣工。芽室町内) ○建築主 芽室町 ○設計者 アトリエブク・創造設計舎設計JV他1者 ○施工者 宮坂・北土・鍵谷特定JV他2JV <p>2. 表彰式</p> <p>(1) 日時 令和4年12月19日(月)午後2時00分から</p> <p>(2) 場所 ガーデンパレス札幌 4階 平安 (札幌市中央区北1条西6丁目)</p> <p>3. その他</p> <p>赤レンガ建築賞は昭和63年に始まり、道内に建設された、竣工後概ね3年以内の地域社会発展に貢献する創造性豊かな建築物等を表彰している。</p>		
参考	(配付資料) 別紙「令和4年度(第35回)北海道赤レンガ建築賞審査結果」		
報道(取材)に当たってのお願い	・表彰式は令和4年12月19日(月)午後2時00分からガーデンパレス札幌 4階 平安で開催予定です。是非、取材をお願いいたします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	建設部住宅局建築指導課 (担当者:課長補佐 池田 裕雅) TEL ダイヤルイン 011-204-5577 (内線:29-453)		

令和4年度（第35回）北海道赤レンガ建築賞 審査結果

赤レンガ建築賞

浦河フレンド森のようちえん

所在地：浦河郡浦河町東町かしわ4丁目 339 番地 2

主要用途：幼保連携型認定こども園 構造及び階数：木造 平屋建て

建築面積：1,331.27 m² 延べ面積：998.26 m²

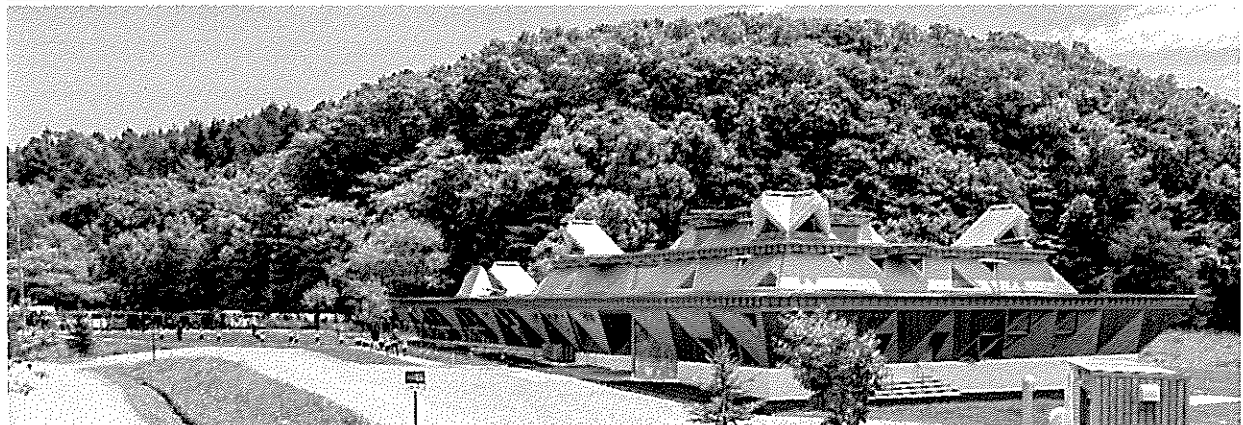
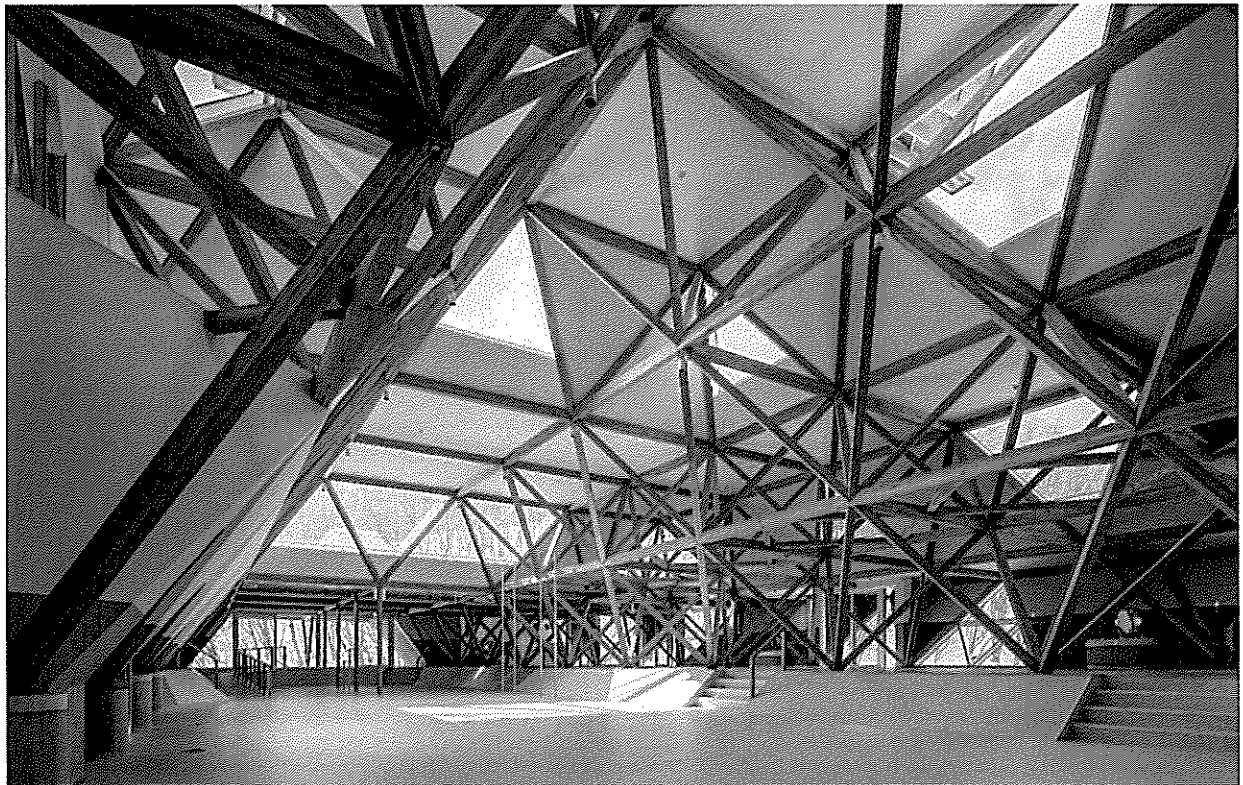
竣工年月日：令和4年（2022年）2月28日

建築主 学校法人フレンド恵学園

設計者 株式会社照井康穂建築設計事務所

施工者 岩田地崎建設株式会社

表彰理由 自然の中、人々の間で、共に支え、共に育て、共に育つの法人理念に基づき、一辺3.3mの正四角錐をユニットとする立体トラスで構成し、隣接する森と一体化させた。浦河町の教育・医療・福祉施設との関わりを考慮し、地域住民との交流も期待される。



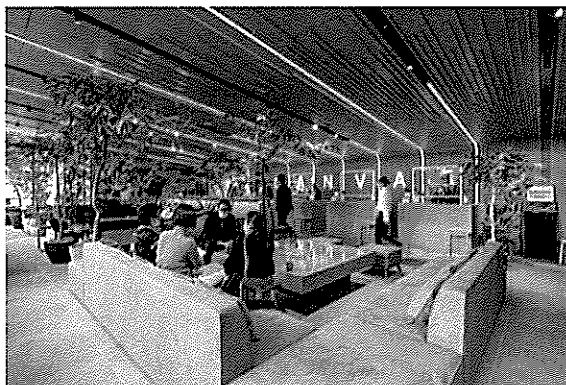
（撮影：古瀬 桂）

令和4年度（第35回）北海道赤レンガ建築賞 審査結果

赤レンガ建築奨励賞

(1) ザ ロイヤルパーク キャンパス 札幌大通公園

所在地：札幌市中央区大通西1-12 主要用途：ホテル／飲食店舗
構造及び階数：鉄筋コンクリート造（一部床：CLT造）／木造 地下1階地上11階建
建築面積：580.62㎡ 延べ面積：6,157.06㎡
竣工年月日：令和3年（2021年）8月31日
建築主 三菱地所(株)
設計者 (株)三菱地所設計
施工者 清水建設(株) 北海道支店
表彰理由 大通公園に面した都市型ホテルで道産木材、環境配慮、文化発信の場として「北海道を体感する」をコンセプトとした高層ハイブリッド木造ホテルで、CLT工法の架構、型枠廃材利用など道産材に拘り、屋上階からの大通公園の景観は見事である。



(撮影：株式会社 川澄・小林研二写真事務所)

(2) 芽室町役場庁舎

所在地：河西郡芽室町東2条2丁目14番地 主要用途：役場庁舎
構造及び階数：鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建
建築面積：1,710.81㎡ 延べ面積：5,558.74㎡
竣工年月日：令和3年（2021年）12月3日
建築主 芽室町
設計者 <アトリエブंक・創造設計舎設計共同企業体> (株)アトリエブंक、(株)創造設計舎
(有)金箱構造設計事務所
施工者 <宮坂・北土・鍵谷建築主体工事特定建設共同企業体>
宮坂建設工業(株)、(株)北土開発、鍵谷建設(株)
<関電工・相互・道産商事電気設備工事特定建設共同企業体>
(株)関電工北海道支店、相互電業(株)、道産商事(株)
<池田・石崎機械設備工事特定建設共同企業体> 池田煥房工業(株)、石崎設備工業(株)
表彰理由 歩いて回れるまちづくりの核として地域に開かれた庁舎を目指し、ループ動線によるサービススペース、議会フロアの開放などを計画し、町民が主役という町長・職員の意識を反映している。将来のまちの姿も見据えた庁舎である。



(撮影：酒井広司)